



卒業おめでとございます

3月に入って4月並みの暖かい日々が続いたかと思えば、一転、校庭の木々が揺れるほどの風の強い日もありますが、南小の桜は、一日一日開花に向けてつぼみを大きくしています。

さて、いよいよ、明日は卒業式です。学校生活の様々な場面でリーダーとなり活躍してくれた6年生が卒業します。とても落ち着いていて、どのようなことにもひたむきに頑張る6年生でした。11月の修学旅行で二日間一緒に生活をしましたが、どこに行っても節度をもって行動し、行く先々で人の話をしっかり聞いていた6年生を見て、本当に立派だなと感心しました。このような6年生の姿が、南小学校の落ち着いた学校生活を作り上げてきたのだと思います。



3月に入り、卒業式に向けての練習が始まりました。6年生が緊張しながらも真剣に取り組み、一人一人が主役として頑張っていました。明日の卒業式では、見る人を感動させる6年生の姿があると思います。そして、このように成長し、小学校を卒業できるのは、ご家庭での温かな励ましと地域の皆様からのご指導やご支援があったからだだと思います。本当にありがとうございました。

いよいよ6年生には輝く春と新しい中学校生活がやってきます。新しく始まる中学校生活に緊張や不安を感じている人もいるかと思いますが、一日も早く慣れ、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

元気なあいさつが多くなりました

26日(火)の修了式をもって、今年度の南小の教育活動を終えることとなります。今年度も1年間を通して家庭学習の定着、早寝早起き朝ご飯などの基本的な生活習慣の定着、自分から進んであいさつをするということを子どもたちに繰り返し話をしてきました。特に2月の集会では、朝、私(校長)が旗振りで子どもたちとあいさつを交わすとき、子どもたちの反応に大きく5つのパターンがあることを話しました。この5つのパターンは、①あいさつをしても無言で通り過ぎる、②かけられたあいさつに対して会釈をして通り過ぎる、③かけられたあいさつに対してあいさつをする、④自分から先にあいさつをする、⑤校長、旗振り当番の保護者の両方に自分からあいさつをするの5つです。そして、心の中で自分は何番なのかを振り返らせた後に、何番を目指すかを考えさせました。

この集会の後の子もたちの様子を見てみると、自分から旗振り当番の保護者の方にあいさつをする児童がとても増えるとともに、全体的に自分から進んであいさつができるようになってきたことを実感しています。ぜひ、新年度につなげていきたい点です。

